

大腿骨近位部骨折の治療を受けられる患者さまへ

NPO法人 日本脆弱性骨折ネットワーク レジストリ構築に関する研究について

研究機関 能代厚生医療センター 整形外科
研究責任者 佐藤 毅（副院長）
研究分担者 久保田 均，伊藤 博紀，佐々木 寛，塚本 泰朗，久田 朱里

このたび能代厚生医療センター 整形外科では、大腿骨近位部骨折（足の付け根の骨折）で入院・通院されていた患者さまの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究による患者さまへの新たな負担は一切ありません。また、患者さまのプライバシーの保護については法令等を遵守し研究を行います。

あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、大腿骨近位部骨折の治療に関するデータベースを作り上げることです。

昨今の急速な高齢化に伴い骨粗鬆症に起因する脆弱性骨折発生率は激増しています。その中でも大腿骨近位部骨折は寝たきり状態となる危険性が極めて高く、医療費のみならず介護費を莫大に必要とするため医療経済面に大きな影響を与える骨折です。そのため、より有効な大腿骨近位部骨折の治療方法の確立を目指すことが超高齢化社会では求められています。それには大規模データベースを作成し病院間・地域間・国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討することが大変有用です。NPO法人 日本脆弱性骨折ネットワークが作るこのデータベースに参加・協力し、より良い治療を探って参ります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年4月以降に能代厚生医療センター 整形外科において、大腿骨近位部骨折の治療のために入院された50歳以上の患者さまを対象とします。

2) 研究実施期間

2023年4月1日 ～ 2030年3月31日まで

3) 研究方法

インターネット上のデータベースへ登録します。

4) 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料
無し

◇ 研究に使用する情報

匿名化したID、性別、年齢、疾患情報、手術情報（手術日・手術・麻酔時間・手術方法など）、骨粗鬆症治療の有無、術後1年間の状態経過など。情報を提供して下さった患者さま個人が特定できないよう、これらの情報は完全に匿名化されてデータセンターへ提出されます。

調査項目の詳細は、NPO法人 日本脆弱性骨折ネットワークのホームページ（<https://ffn.or.jp>）をご覧ください。

5)研究成果の取扱い

ご参加頂いた患者さまの個人情報が変わらないようにした上で、診療報酬改訂に向けた実態調査などの政策対応、専門医制度のための症例データベース、また学術論文などの公表に日本脆弱性骨折ネットワーク会員又は関連学会員が用います。

6)問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さまに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

能代厚生医療センター 整形外科

研究担当医師 佐藤 毅, 久保田 均, 伊藤 博紀, 佐々木 寛, 塚本 泰朗, 久田 朱里

連絡先(電話番号) 0185-52-3111 (平日: 9時~17時)

能代厚生医療センター 整形外科外来

8)研究組織

能代厚生医療センター 整形外科

〒016-0014 秋田県能代市落合字上前田地内

TEL: 0185-52-3111

NPO法人 日本脆弱性骨折ネットワーク 事務局

〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎761番地

TEL: 025-250-1247

日本脆弱性骨折ネットワーク レジストリ
登録データ削除申請書

【注意】 この削除申請書は手術を受けた病院へ提出してください

日本脆弱性骨折ネットワーク レジストリへ
登録されたデータの削除を希望します

氏名 _____

生年月日 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ID (診察券の番号) _____

手術を受けた病院名 _____

削除範囲

①すべて

②一部 _____

申請日 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日